

九州大学山岳部 2024 年度 報告書

文責：山崎

行動記録

2025/03/18（木） 天気：晴れのち吹雪

09:10 アルプス平駅 発

12:15 小遠見山

14:40 中遠見山後のコル 着

15:00 同 発

15:50 大遠見山山頂 着

18:30 就寝

入山日。幕営地点到着後から降雪と共に風が強くなったが、山行中は晴れていた。

朝、白馬スキー場のゴンドラを利用して入山。地蔵の頭付近で原の雪上訓練を行う予定だったが、適当な斜面が見つからなかったことと、スキー・スノーボード客が多かったため雪上訓練を諦め、幕営地点まで向かうことになった。小遠見山の登りに入った辺りから雪が深くなったため、隊全体で先頭を交代しつつラッセルを行って山行を進めた。中遠見山を越えたコルに到着後、翌日以降の天気予報に鑑みて当初の予定を変更し、大遠見山まで向かい、山頂を西遠見山側に少し過ぎた地点に幕営した。翌日は西遠見山の西にあるコルまで幕営地点を移動させることにし、この日の行動を終了した。

03/19（金） 天気：強風

05:30 起床

07:00 沈殿が決定

17:00 就寝

朝は風が強く、昼頃に風も収まって晴れ間も見えたが、夜にはまた風が強まった。

この日は結果的に沈殿することとなった。起床後、ある程度の準備までは終えたものの、風が強く視界も悪いということで沈殿が決定した。また夕方ごろに、計画を変更し、翌日は荷揚げを行わずに現在の幕営地点から6名で五竜岳へアタックを行うことが決定した（元は上級生4名によるアタック）。翌日のアタックに備え早めの就寝となり、この日は終了。

03/20（土） 天気：強風のち晴れ

02:00 起床

03:00 幕営地点 発（アタック隊6名）

07:15 五竜山荘 着

07:30 同 発

09:00 G0-G1 間のコル (2 名が撤退)  
09:55 五竜岳山頂  
11:10 (撤退の 2 名が五竜山荘に到着)  
12:00 五竜山荘 着 (2 名とも合流)  
12:15 五竜山荘 発  
14:00 幕営地点 着  
18:30 就寝

五竜岳アタック日 (山崎、山本、岩井、津田、木下、森の 6 名)。午前中は風が強く時おり地吹雪のようになり視界も悪かったが、日が昇り午後になるにつれ晴れていった。

暗いうちに幕営地点を出発。先行したパーティーはおらずトレースもなく、特に白岳南西側の斜面は雪が深く苦戦しながらも五竜山荘に到着した。白岳は山頂を踏まずに巻くことになり、白岳南西側の斜面上部を横断するように通過した。五竜山荘にて山崎の右手薬指の凍傷が発覚するも、アイゼンを装着し、6 名全員で山行を続行。しかし G0-G1 間のコルで山崎が撤退の決断。また、体調が思わしくない、と岩井も撤退ということに。2 名は五竜山荘まで撤退し待機、残り 4 名は山行を続行することになった。4 名はその後五竜岳に登頂、五竜山荘に戻り 2 名と合流し、6 名で幕営地点に戻った。アタック隊の帰幕後、翌日の白岳アタック決行を決定した。その後夕食とったのち就寝、この日は終了した。

03/21 (日) 天気：強風

03:00 起床  
04:10 幕営地点 発 (3 名)  
05:00 西遠見山  
07:40 五竜山荘 着  
08:00 五竜山荘 発  
08:20 白岳山頂  
08:45 五竜山荘  
10:15 西遠見山  
10:45 幕営地点 着 (3 名)  
11:15 幕営地点 発 (下山開始、全員)  
13:30 スキー場上部 着  
14:05 雪上訓練、ビーコン搜索終了  
スキー場上部 発  
14:30 アルプス平駅 着

白岳アタック日、下山日。午前中、アタック隊はやはり強風に見舞われた。幕営地では比較的穏やかな天候だったが、午後の下山中はかなり強い風に見舞われた。

この日は昨日の五竜アタックに参加していない 1 年生 2 名 (佐藤、原) と 3 年 1 名 (山

本)による白岳アタックが行われた。風によって前日のアタックのトレースがほとんど消えていたが、そのトレースをたどり、前日のアタックと同様のルートで五竜山荘を経由して白岳に登頂した。アタック隊の3名は11時前に無事帰幕。

3名のアタック中、9時ごろに翌日以降の暴風の予報を鑑みて、この日のうちに下山を済ませてしまおうということになった。10時の定期通信時でアタック隊の3名にもこの決定を通知し、その後アタック隊の帰投までに荷造りを済ませた。11時前に3名が帰投。しばらくの休憩の後下山を開始。晴れているものの強い風に見舞われながら入山と同様のルートをたどって下山。スキー場上部に到着後、軽いビーコン搜索訓練と原の雪上訓練を行った。終了後、スキー場内を歩いてゴンドラ駅へ到着し、山行は終了となった。

#### 係の反省（食料）

準備の遅れ：装備の確認や歩荷分けなど全体的に始動が遅れ、出発直前まで装備の数（プローブ・ワカン等）が足りるか不安であった。その結果先輩方に助けていただく場面が多く申し訳なかった。次回以降は他の装備係とも連絡を取り合い、順序だてて進める。

知識不足への対応：山本さんが作成して下さったマニュアルがあったものの、それだけでは自分の理解が不十分であった。基礎的な知識不足を自覚し、少しでも不明点があれば自分で調べるべき。必要であれば早い段階で他部員を始めとする関係者に積極的に質問する。

装備管理：所持者の管理が曖昧で、現在も部員同士の又貸しを含めて把握できていない。今後は常時共有可能な管理シートをドライブ上に作成し、使用者自信が随時記入する形式に変更したい。また、同じ種類の装備には番号を振って明確に識別することを徹底する。

装備係にミスがあれば大きな事故になりかねない。不備があれば合宿自体が失敗することもあるだろう。行きの電車では何か忘れてないかと、度々不安に駆られた。今後はそうした不安を抱かずに済むよう、これまで以上に責任をもって業務にあたっていきたい。

#### 係の反省（交通）

行きの交通は2022年度の五竜合宿のときと全く同じ交通機関を利用した。新幹線と夜行バスではザックを座席の間や膝の上に置くなどという大変窮屈な思いをさせてしまった。今回のような指定席の新幹線については、特大荷物が置ける各車両最後列の座席が取れるよう早めに予約することを今後は心掛けたい。また、自由席であれば予約のタイミングによらず最後列の座席に座れば荷物を荷物スペースに置くことが出来るので、自由席の利用も視野に入れておくと思った。

大きなミスとして、体調不良で不参加が決まっていた斎藤さんの分の夜行バスの予約をキャンセルするのを忘れてしまった。予約後にメンバーの不参加や別ルートからの合流などが決まったら、参加メンバーや特に予約をした人にしっかり共有し呼びかけることでキャンセルのし忘れを防ぎたい。

係の反省（食料）

合宿が立て続けにあったこともあり、在庫確認と購入が遅れてしまった。次回からは早めの行動を心掛けたい。 朝食や夕食のメニューについては特に問題はなかった。